保護者の皆様へ

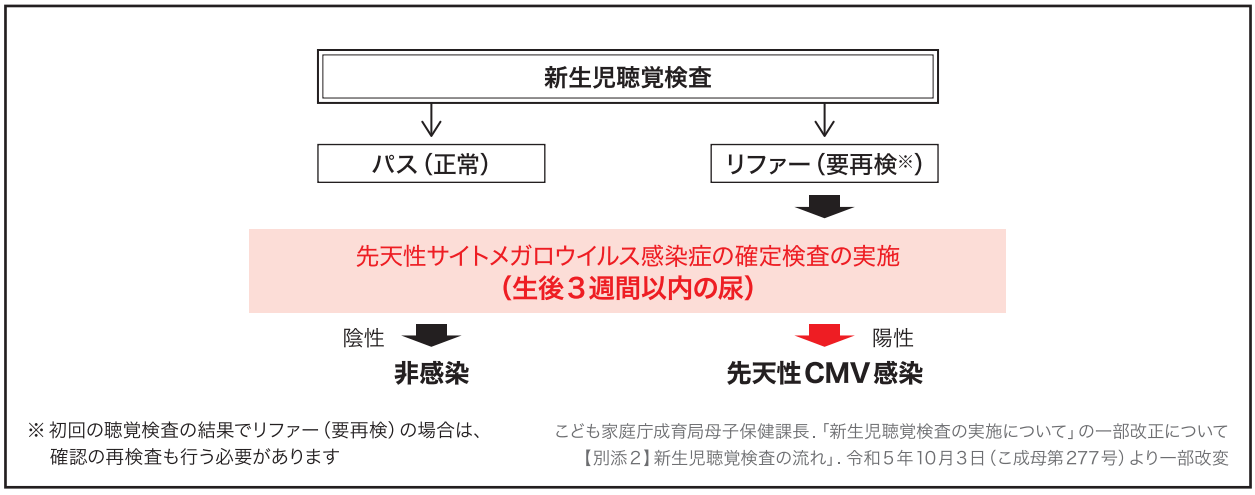
新生児聴覚検査でリファー（要再検）の場合は先天性サイトメガロウイルス感染の検査を受けましょう

新生児難聴の主な原因のひとつに、先天性サイトメガロウイルス感染があります

妊娠中のお母さんがサイトメガロウイルス（CMV）に感染すると、赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくることがあります。その障がいのひとつに「難聴」があります。出生時の聴力障害の原因として、遺伝性の次に多いと考えられているのが先天性CMV感染によるものです。聴力障害があるかどうかは、聴力の精密検査を受けなければわかりません。

新生児聴覚検査でリファー（要再検）の場合は、聴力の精密検査の前に先天性CMV感染の確定検査の実施が強く推奨されています*

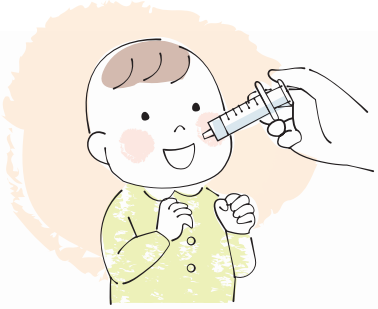
CMV感染の検査は、生後３週間以内に赤ちゃんの尿を採取することで診断します。生後３週間を超えると、先天性感染と後天性感染の区別が困難となるため、なるべく早く実施することが望まれます。



*日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業-BIRTHDAY 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症を対象としたバルガンシクロビル治療の開発研究班（編）．「先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン2023」．診断と治療社，東京，2023年10月

先天性CMV感染だった場合、抗ウイルス薬治療という選択肢があります

赤ちゃんの体内でCMVが増殖するのを抑える抗ウイルス薬バルガンシクロビル（バリキサ®）を服用することで、難聴の改善や進行の抑制などの効果が期待できます。一方、白血球（好中球）減少などの副作用もあります。保険診療で行える治療ですので、小児科の主治医と相談のうえ進めてください。



バルガンシクロビル（バリキサ®）は
注射器のようなディスペンサーを用いて、1日2回、
赤ちゃんに飲ませるドライシロップ剤のお薬です

日本医療研究開発機構（AMED）（成育疾患克服等総合研究事業）「母子感染のリスク評価と先天性感染の新たな診断・予防法の開発研究」班

http://cmvtoxo.umin.jp/

2024年01月作成